

日本慢性期医療協会

定例記者会見

日時：令和2年6月24日17:30～

場所：Web会議システム「Zoom」使用



日本慢性期医療協会

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

日本慢性期医療協会 2020年行動提言

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

1. 慢性期医療を徹底し、患者の日常生活復帰を高める
2. 在宅医療の質的、量的供給の徹底
3. 治療による回復が困難な患者への適切な対応
4. 急性期の入院短縮化と急性期病棟への
基準介護、基準リハビリ制度の導入
5. 慢性期救急への迅速な対応
6. 慢性期DPC制度の導入（医療区分の廃止）
7. 慢性期医療へさらなるICTの導入促進
8. 生涯リハビリテーションの推進
9. 地域における診療所や介護施設との連携強化
10. 総合診療医と特定看護師の育成と研修₂

- 新型コロナウイルスに罹ると、80歳以上の高齢者の死亡率は20%だが、80%の人は助かる。
- しかし1カ月以上も入院していると、ほとんどが要介護者になるのではないか。
- 新型コロナウイルスへの対応は、命を助けることが最優先であり、寝たきりになって要介護状態になることを防ぐような余裕はない。

新型コロナウイルス患者に対する日本慢性期医療協会の対応

JAPAN ASSOCIATION OF MEDICAL AND CARE FACILITIES

- 高齢の重症患者が多い慢性期病棟では他の入院患者への感染リスクを考えると新型コロナウイルス陽性患者を受け入れるのは大変厳しい。
- しかし第二波、第三波がやってきて患者が急増すれば、慢性期多機能病院としても、責任を果たさなければならない。
- 発熱者専用外来スペースを設け、検査を行い、新型コロナウイルス陰性患者を受け入れ、適切な診療を行わなければならない

そして、専門病院での治療を終えた
新型コロナウイルス患者を受け入れ、積極的な
リハビリテーションを行い、在宅復帰に
向けたサポートを行っていかなければならない。